

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域のお宝開発事業
事業主体 (連絡先)	両小野学園運営推進委員会 (0266-46-2957)
事業区分	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	461,250円 (うち支援金: 338,000円)

事業内容

- ・両小野学園の「たのめ科」(総合的な学習の時間)の活動として、アントレプレナー学習を行った。
- ・期間…4月25日(第1回)～12月18日(第10回)
- ※木曜日の5,6校時を基本に、長野大学教授の指導の下、商品化したい素材について希望でわかれた縦割りグループにより活動を行った。
- ・追究素材(地域の宝)…植物、霧訪山、水、郷土料理、神社・お寺・御柱、歴史・人物、星(2グループ)、土(2グループ)、キャラクター(3グループ)、動物(4グループ) 以上17グループ
- ・中間発表会で、お互いの発表の良さや改善点などを出し合い、文化祭でのプレゼン(本番)に生かした。文化祭においてプレゼンを行い、地域の方の投票により高評価を得たものから市役所等の機関や、地元商店に働きかけ商品化していく努力をした。



事業効果

- ・地域の会議において、中学生の頑張りを評価し、大人たちも中学生の視点や発想を参考に、地域づくりに参画していこうとする前向きな意見が出された。地域住民の関心も高まり、地域をあげて活性化を推進する気運の高まりにつながりそうだ。

※1 自己評価(事業実施率)【 B 】

【目標・ねらい】

- 次代の地域を担う子どもたちが、地域の良さを見つけ出し、そこに磨きをかけるアントレ学習を通して地域を活性化する意欲や態度を育む。
- 発表会で地域住民にプレゼンテーションすることで、住民に地域づくりヒントやきっかけを与え地域を活気づける。

今後の取り組み

※2 自己評価(事業効果)【 B 】

- ・この活動を続けて地域の方に発信していくことにより、両小野を元気にしていくための商品開発や愛着のある商品が生まれ、地域における活用が期待できる。来年度も地域の活性化を願って、地域の良さを幅広く発信していく予定である。